

2020年12月1日に思う

誰もが、この1年を振り返る「師走」になりました。

インフルエンザや風邪に備える心があっても、まさか、新型コロナウイルスの脅威にさらされることを誰が予測できたでしょうか。収束どころか、ここに来て感染者が爆発的に増加しており、第3波襲来と言われる状況下になり、深刻さが増しています。

「重症化は防げている」とは言うものの、依然として感染経路不明のものが多く、年代に関係なく広がっています。会食での感染はもちろんのこと、家庭内感染も発生しつつあるようです。「安全に会食する方法はあるのか」「家庭内感染を防ぐことは可能か」など、悩みはつきません。

さらに、「第3波はクラスターが多様化し、その対応が難しくなっている」という専門家の声もあります。「今後の医療提供体制はどうか」「頼みのワクチンはいつ完成し、いつ接種が可能になるのか」「仮にワクチンが接種されたとして、日常の生活様式はどうか」「マスク着用や会食、集会などはどうか」など、不安はつのる一方です。

言うまでもなく、事の解決には予防、医療・治療、ケアの一体的な取り組みが必須ですが、まだ相当の期間と知恵、知識の積み重ねが必要でしょう。

今私たちがすべきことは「予防」です。おだやかな年末年始を迎えるためにも、徹底してマスクの着用、手洗いやうがいの励行、適度な換気、そして体力づくりに努めましょう。